

2025 年度

ニチキッズ安曇野保育園 自己評価総括表

地域社会における保育施設として、その運営や保育内容について自らの保育実践を振り返り、自己評価を行いましたので、その結果を以下の通り公表いたします。

また、本自己評価の結果を踏まえ、今後も更なる専門性の向上や保育実践の改善に努め、より一層質の高い保育の実践を目指してまいります。

評価方法		
保育士等（全職員）の自己評価	評価期間	2026年1月5日（月）～1月30日（金）
	実施方法	全職員に自己評価について趣旨を説明し自己評価を実施した。
保育施設の評価	評価日	2026年2月27日（金）
	実施方法	話し合いにより職場全体で共有し、保育施設の課題を明確化して改善策を検討した。

項目ごとの評価	
保育理念	「おもいっきり遊ぶ おもいっきり学ぶ」の保育理念のもと、子ども達一人ひとりの人権を尊重し、その気持ちに寄り添い、個の育ちを大切にする保育の実践を志した。また保育目標である「すくすく育つ」「わくわく遊ぶ」「いきいき過ごす」を念頭に置いた上で指導計画を作成し、日々それに基づいた保育をするよう努めた。
子どもの発達援助	心身ともに健やかな発達を促すよう、職員間で情報共有を図った上で家庭や各関係機関とも連携し援助するよう心掛けた。一人ひとりの情緒の安定を図り安心できる環境のもと、その自発的な活動を促し「子ども主体の保育」が出来る環境作りをすることに注力した。また個々の子どもの発達段階等を理解するように努め、こどもの成長に適したサポートを行うことを常に考え行動した。
保護者に対する支援	在園児の家庭と日常の中での様々な機会を活用し、積極的にコミュニケーションを取るよう心掛けた。子どもの日々の様子の伝達や情報共有をしていく中で信頼関係の構築をするよう努めた。また地域にも広く目を向け、その支援の一助として「子育てひろば」等の活動を通して地域の子育て世代との繋がる機会を設けた。地域の保護者とも触れ合う中で、その支援にも貢献することができた。
保育を支える組織的基盤	職員は園内外の研修への参加や参考文献による学習など、多角的な視点から知識やスキルを習得し、その専門性を高める努力をした。また、その内容を園全体で共有し保育の質の向上に努めた。また、各種マニュアルを遵守し法令や規範、倫理に則った保育を実践し、子どもや保護者にとって「安心・安全」な保育園作りを常に心掛け行動した。

総評
全職員が自己評価を行うことで、自分自身の日々の業務に対する姿勢、考え方やその知識、理解度について見つめ直す機会となった。また園全体としての改善点や課題も共通認識する機会を持つことができた。今年度は例年に比べ園外での研修の機会が少なかった。次年度以降はこの反省を活かし、園外の研修にも積極的に参加する機会を設けるようにする。職員は様々な自己研鑽を重ね、自らの人間性と専門性の向上に努めていく。そうした上で、子どもや保護者との信頼関係を築き、保育理念である「おもいっきり遊ぶ おもいっきり学ぶ」を実践できる保育環境を整え「子ども主体の保育」を推進していく。